

エコアクション21 環境経営レポート 2021年

対象期間2021年1月1日～2021年12月31日



発行日 2022年2月23日



平沢電機株式会社

目 次

1 組織の概要

1-1 事業者名、所在地、事業の概要 事業の規模

1-2 沿革

1-3 設備概要

2 対象範囲

・環境経営組織図

3 環境経営方針

・環境経営理念 環境経営方針

4 環境経営目標

4-1 中期環境経営目標

4-2 2021年環境経営目標

5 環境経営計画

6 環境経営計画に基づき実施した取組内容（実施体制を含む）

7 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組み結果とその評価

（実績には二酸化炭素排出量を含む）、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

7-1 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組み結果とその評価

7-2 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

8 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

「環境法令等登録書兼チェック表」より

9 代表者による全体評価と見直し・指示

マネジメントレビューより

10 その他の取り組み、トピックス

・アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区事業所指定

・2021年健康優良法人継続認定 ・長野県SDG s 推進企業登録 ・総合防災訓練

1. 組織の概要

1-1 事業者名、所在地、事業の概要、事業の規模

- (1) 事業者名 平沢電機株式会社
代表者名 代表取締役 平澤 敏樹 (2018/12/1より)
- (2) 所在地 本社・工場 〒399-4431長野県伊那市西春近2900番地
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 事務局 総務部門長 浦野 安明
担当者 同上
連絡先 電話 0265-72-4136 F A X 0265-76-1990
ホームページ <https://www.hirasawadenki.com/>
e-mail info@hirasawadenki.com

(4) 事業の規模等

- 1) 創業 昭和35年7月
2) 事業規模 右表
3) 資本金 1050万円

活動規模	単位	2019年	2020年	2021年
生産量	百万円			
売上高	百万円	479	374	507
従業員	人	60	60	65
床面積	m ²	7260	7260	7260

(5) 事業内容

アルミを中心とした金属の精密切削加工、組立・検査

1-1 沿革

- 昭和35年 日立家電販売修理を業務として平沢電機株式会社を設立
昭和40年 工作所設立、オリンパス製品加工開始
昭和43年 オリンパス顕微鏡組立開始
昭和49年 オリンパス光学、カメラ組立開始
昭和59年 本社工場（延べ床面積3,300m²）建設工作所・中央工場を併合集約
昭和63年 姉妹会社(株)アジアエレクトロニクス設立
平成 1年 信濃特機(株)子会社の天竜特機(株)を引き継ぎグループ 3社とする
平成 2年 資本金1,050万円に増資
平成 7年 本社工場南側増築工事完了
平成 9年 本社工場北側増築工事完了
平成12年 ISO9001取得
平成17年 1F 北側工場改築（延べ床面積5,980m²）
平成18年 環境 エコアクション21取得
平成19年 北側新工場建築（5軸加工機専用）（延べ面積7260m²）
平成20年 厚生労働省快適職場認定
平成21年 エコ通勤優良事業所認証
平成25年 長野県労働局長奨励賞受賞
平成27年 エコアクション21 登録・認証10年継続事業者表彰
令和 1年 A Mシステムズ（株）業務提携
令和 2年 JIS Q 9100 取得（ISO 9001:2015 移行済）

1-3 設備概要

種類/Category	メーカー/Maker	形式/Type	移動量/Distance X・Y・Z(mm)	特徴/Features	台数/Number
マシニングセンタ/MC	安田工業/YASDA	★YBM-1200N ③	X3000 Y2100 Z1500	横形 4パレット仕様 /Transversal 4 Pallets	1台/1ea
	新日本工機 /SHIN NIPPON	RB-350F ②	X8000 Y3500 Z1700	門形 5軸 /Gantry 5 Axis	1台/1ea
	東芝機械 /TOSHIBA MACHINE	MPF-3140DS	X4000 Y3100 Z715	門形/Gantry	1台/1ea
	牧野フライス/MAKINO	a51	X560 Y560 Z560	横形 8パレット仕様 /8 Pallets	1台/1ea
	牧野フライス/MAKINO	★a51nx ⑤	X560 Y640 Z640	横形 立体3段パレット仕様 /3 Decker Pallets	1台/1ea
2022年4月導入予定	牧野フライス/MAKINO	★a51nx	X560 Y640 Z640	横形 2パレット仕様 /2 Pallets	1台/1ea
	牧野フライス/MAKINO	★a81	X900 Y800 Z1020	横形 8パレット仕様 /8 Pallets	1台/1ea
2021年12月新規導入	安田工業/YASDA	★H40i	X875 Y740 Z685	横形5軸立体2段パレット仕様 /5 Axis 2 Decker Pallets	1台/1ea
	牧野フライス/MAKINO	★a61nx	X730 Y730 Z680	横形5軸立体3段パレット仕様 /5 Axis 3 Decker Pallets	1台/1ea
	牧野フライス/MAKINO	★a500Z ④	X730 Y750 Z500	横形5軸立体3段パレット仕様 /5 Axis 3 Decker Pallets	1台/1ea
	牧野フライス/MAKINO	FNC156	X1500 Y600 Z560	立形/Vertical	1台/1ea
	牧野フライス/MAKINO	GN1712	X1700 Y1200 Z700	立形/Vertical	1台/1ea
NC旋盤/NC LATHE	ツガミ/TSUGAMI	NU4Y	X135 Y50 Z190		3台/3ea
2021年8月新規導入	ヤマザキマザック /YAMAZAKI MAZAK	★INTEGREX i-500S 2500U ①	X845 Y430 Z2594	背面加工可能 /Back Face Processing	1台/1ea
	ヤマザキマザック /YAMAZAKI MAZAK	★INTEGREX 200-ⅢS	X580 Y160 Z1045		1台/1ea
	ヤマザキマザック /YAMAZAKI MAZAK	★INTEGREX 300-ⅢS	X630 Y230 Z1585	背面加工可能 /Back Face Processing	1台/1ea
	ヤマザキマザック /YAMAZAKI MAZAK	INTEGREX300Y	X580 Y210 Z1095		1台/1ea
	森精機製作所 /MORI SEIKI	ZL-250MC	X235 Y170 Z615		1台/1ea
NCフライス盤 /NC MILLER	牧野フライス/MAKINO	AEV-85	X850 Y500 Z400		1台/1ea
三次元測定器 /3 Dimensional CMM	ミットヨ/MITUTOYO	★Bright-Apex1220	X1205 Y2005 Z1005		1台/1ea
	ミットヨ/MITUTOYO	CRYSTA- ApexS9106	X905 Y1005 Z605		1台/1ea

使用しているCAD/CAMソフト/
Using CAD/CAM software

- VERICUT (CGTech)
- AutoCAD (AUTODESK)
- CATIA V5 (Dassault Systems)
- NCVIEW (Cimple Tech)
- CAM-STAFF (SOFTECh)
- Mastercam (CNC Software) 3台/3ea
- SolidWorks (Dassault Systems) 2台/2ea

①



②



③



④



⑤



2. 対象範囲

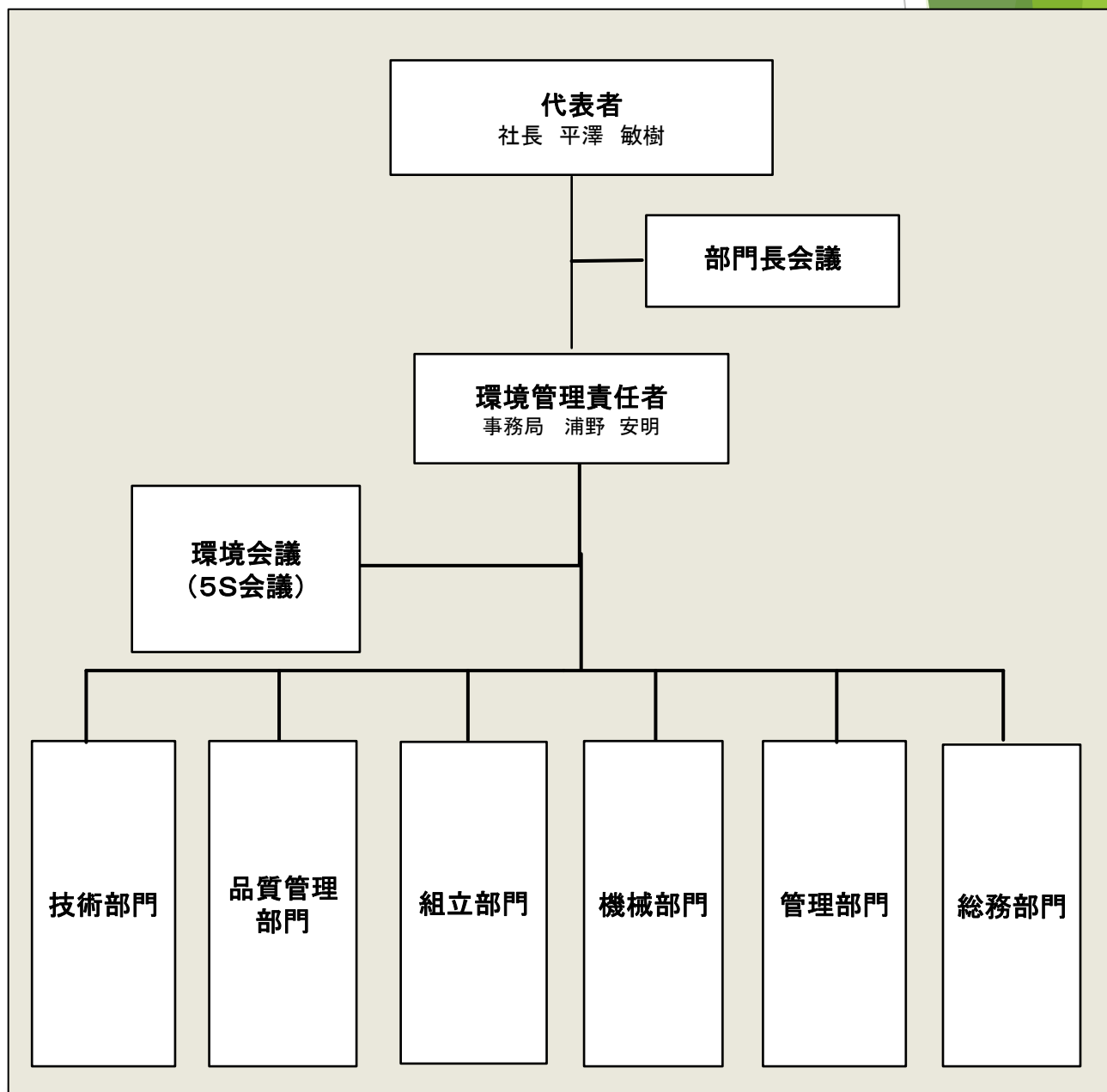
対象期間： 2021年1月1日～2021年12月31日

発行日： 2022年2月23日

対象範囲： 長野県伊那市西春近 2898番地～2900番地にある平沢電機株式会社の所有するすべての土地・建造物とそこで働く全従業員が対象組織であり、その組織のすべての活動をもってエコアクション21に取り組み、環境経営システムを構築、運用、維持するものとする。

平沢電機株式会社は以下の組織に基づき環境活動を行っている。

E A 21環境経営組織図



3. 環境経営方針

＜平沢電機株式会社 環境経営方針＞

環境経営理念

自然環境に優れたこの地に存在する私達 平沢電機株式会社は、この豊かな自然環境に感謝と誇りの念を持ち、一人ひとりが自主的な環境保全の意識を持って環境負荷低減に向けた活動を行い、人と地球にやさしい工場作りを目指します。

環境経営方針

- 1.適用される環境関連法規等や当社が約束したことを遵守します。
- 2.製造部門での品質安定化・製造工程短縮化によって二酸化炭素排出量・使用化学物質・廃棄物・水の使用量の削減、及び省資源の推進をはかります。
- 3.事業活動によって生じる廃棄物のリサイクル化に取り組みます。
- 4.環境や資源に配慮した製品や原材料調達を心がけます。
- 5.水質汚濁の防止に努めます。
- 6.全従業員に朝礼、会議、研修、掲示等でこの環境方針を周知・理解させ、環境に関する教育訓練を行います。
- 7.従業員にエコ通勤をすすめ、社用車でのエコ運転の実施に努めます。
- 8.経営における課題とチャンスを考慮して環境経営目標を定め、それに取り組み、定期的に見直しをすることにより環境経営の継続的な改善を行います。

2018年12月25日

平沢電機株式会社

代表取締役社長 平澤 敏樹

4. 環境経営目標

5. 環境経営計画

1) 中期環境経営目標（2019-2021）は以下の通り計画を含む

環境目的	具体的目標	責任者/ 対象部門	基準年度 基準値	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素の排出量削減	総務部門長/ 全社	前年実績 1%減	2018年実績1%減	2019年実績1%減	2020年実績1%減
				2つのデマンドコントローラー制御・節電・空調設備管理 エアコン稼働ローテーション		
	冬季(12月～2月)を除いた エコ通勤の維持継続・エコ ドライブ実施(管理部門)	総務・管理部門長/ 全社	2018年目標値 +1日	30日/月以上	30日/月以上	30日/月以上
廃棄物排出量削減	可燃ゴミと廃油削減	総務部門長・機械部 門長(廃油)/全社	各前年実績 1%減	2018年実績1%減	2019年実績1%減	2020年実績1%減
				ゴミのリサイクル促進・機械負荷削減 廃油等マニフェスト 管理		
	機械・備品の長期使用	製造部門長/ 製造部門	部門目標	各部門目標	各部門目標	各部門目標
水使用量削減	水使用量維持管理	総務部門長/ 全社	前年実績 1%減	2018年実績1%減	2019年実績1%減	2020年実績1%減
				漏水チェック、生活水と洗浄・パレル水・切削水等管理		
	使用禁止物質の使用禁止 使用化学物質削減管理	管理・製造部門長/ 管理・製造部門	維持 部門目標	各部門目標	各部門目標	各部門目標
グリーン購入の実施	グリーン購入継続維持	総務・管理部門長/ 総務・管理部門	活動維持	各部門目標	各部門目標	各部門目標
				グリーン調達手順に添った購買活動・グリーン調達先管理		
	売上・利益UP	総務・管理・ 技術各部門長/ 同部門	部門目標	各部門目標	各部門目標	各部門目標
製品への環境配慮 その他	工程時間削減・環境負荷 削減の工夫	製造・技術部門長/ 製造・技術部門	部門目標	各部門目標	各部門目標	各部門目標
				工数把握、工程短縮方法の検討、プログラム修正・ コスト削減 工夫 検証		
	不良損金削減	品質管理部門長/ 機械部門	品質目標と同じ	各部門目標	各部門目標	各部門目標
				3Sの徹底、不良発生原因調査・対策検討実施		

2) 2021年環境経営目標

環境目的	具体的目標	責任者/対象	目標値等	2020年の主な行動計画
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素の排出量削減	総務部門長/ 全社	前年実績 1%減	①デマンドコントローラー・スマートクロックによる監視・管理 ②エアコン稼働調整 ③節電設備検討 ④省エネ委員活動 ⑤節電表による管理継続
	冬季(12月～2月)を除いたエコ通勤の維持継続 エコドライブ実施(管理部門)	総務・管理部門長/ 全社	30日以上	①エコ通勤呼びかけ、活動報告掲示 ②駐輪場整備・自転車点検整備等 ③ノーマイカーウィーク参加 ④社用車のエコドライブの実施
廃棄物排出量削減	可燃ゴミと廃油削減	総務・機械部門長/ (廃油)/全社	前年実績1%減 (ゴミ186.34kg/ 月以下) (廃油1.73t/ 月以下)	①リサイクルゴミ仕分け徹底呼びかけ ②月ごと結果発表掲示 ③コピー両面使用 ④電子媒体促進、配布書類削減 ⑤廃棄切削油把握削減 ⑥油漏れ対策
	機械・備品の長期使用	製造部門長/ 製造部門	部門目標	①予知保全を考慮した各種設備備品日常・定期点検の実施 ②整備点検教育の実施 ③各種精度点検の実施 ④レベル点検 ⑤設備保全技能教育
水使用量削減	水使用量維持管理	総務部門長/ 全社	前年実績1%減 (97.76t/月以下)	①毎月使用量内訳再把握 ②水漏れ点検 ③生活排水の節水呼びかけ ④月使用量のグラフ作成掲示
化学物質使用量削減	使用禁止物質の使用禁止 使用化学物質削減管理	管理・製造部門長/ 管理・製造部門	維持 部門目標	①使用禁止物質の含有量調査(客先調査協力時)記録(管理部門) ②新規溶剤等購入時にSDS取得 ③主要溶剤・切削油管理・削減(製造部門)
グリーン購入の実施	グリーン購入継続維持	総務・管理部門長/ 総務・管理部門	活動維持	①グリーンサプライヤーからの購入維持 ②グリーン調達基準に基づく購入継続
製品への環境配慮 その他	売上・利益UP	総務・管理・技術各 部門長/ 同部門	部門目標	①新規品の取り込み、新規開拓 ②材料費の見直し ③経費分析 経費節減
	工程時間削減・環境負荷削減 の工夫	製造・技術部門長/ 製造・技術部門	部門目標	①工数把握 加工時間短縮 ②工程管理表の有効活用 ③プログラム修正 ④工程削減治具作成 ⑤外段取りの構築 ⑥環境負荷削減の工夫・検証
	不良損金削減	品質管理部門長/ 機械部門	25万/月以下	①不良集計表の作成・掲示 ②不良原因調査・対策実施 ③不具合対策表・不良損金報告書作成

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容 (実施体制を含む)

1 排出量削減

- ①デマンドコントローラー・スマートクロックによる日々の電気使用の監視・管理と電力契約の切り替えによる電気料金削減（総務部門）
- ②省エネ委員活動-----毎日の節電内容を記録、結果を部門毎に全社掲示（全部門）
- ③設備の長期使用・故障対策活動のレベルアップに設備保全技能教育を機械部門の全管理者が受講し技能検定1,2級取得（社長・生産部門）
- ④節電設備推進---全て水銀灯のLED化完了、蛍光灯のLED化の推進継続
（総務・技術部門）
- ⑤毎月月初に電気使用量とCO2排出量のグラフを全社掲示（総務部門）
- ⑥長野県緑の募金への寄付 令和3年 6,532円（総務部門）

2 廃棄物排出量削減

- ①リサイクルゴミ仕分け徹底と可燃ゴミ目標管理・グラフ掲示（総務部門）
- ②配布書類削減のため各種会議でのプロジェクター利用推進（総務部門）
- ③電子媒体促進---公的機関提出物関係電子申請移行推進（総務部門）
- ④廃棄切削油把握削減---削減目標管理、グラフ掲示（機械部門）
- ⑥油漏れ対策----職場の3S・機械メンテの徹底と修理等を削減（機械部門）
- ⑦予知保全を考慮した各種設備備品日常・定期点検の実施（技術部門）
- ⑧整備点検教育の実施/各種精度点検・レベル点検実施（機械部門）
- ⑨設備保全技能教育の奨励---令和3年-機械保全技能士資格者 1級5名 2級3名
（機械・技術部門）

3 水使用量削減

- ①毎月使用量内訳把握と管理 生活使用水、機械職場4箇所の使用量計測管理、月次使用量のグラフ作成掲示（総務・機械部門）
- ②水漏れ点検の毎月実施（期間内水漏れ無し）（総務部門）
- ③生活排水の節水呼びかけ推進(全部門)

4 化学物質使用量削減

- ①取引先より使用禁止物質の含有量調査（管理部門）
- ②化学物質購入時にSDS取得とSDS管理（総務・使用部門）
- ③主要溶剤の管理削減（組立部門）

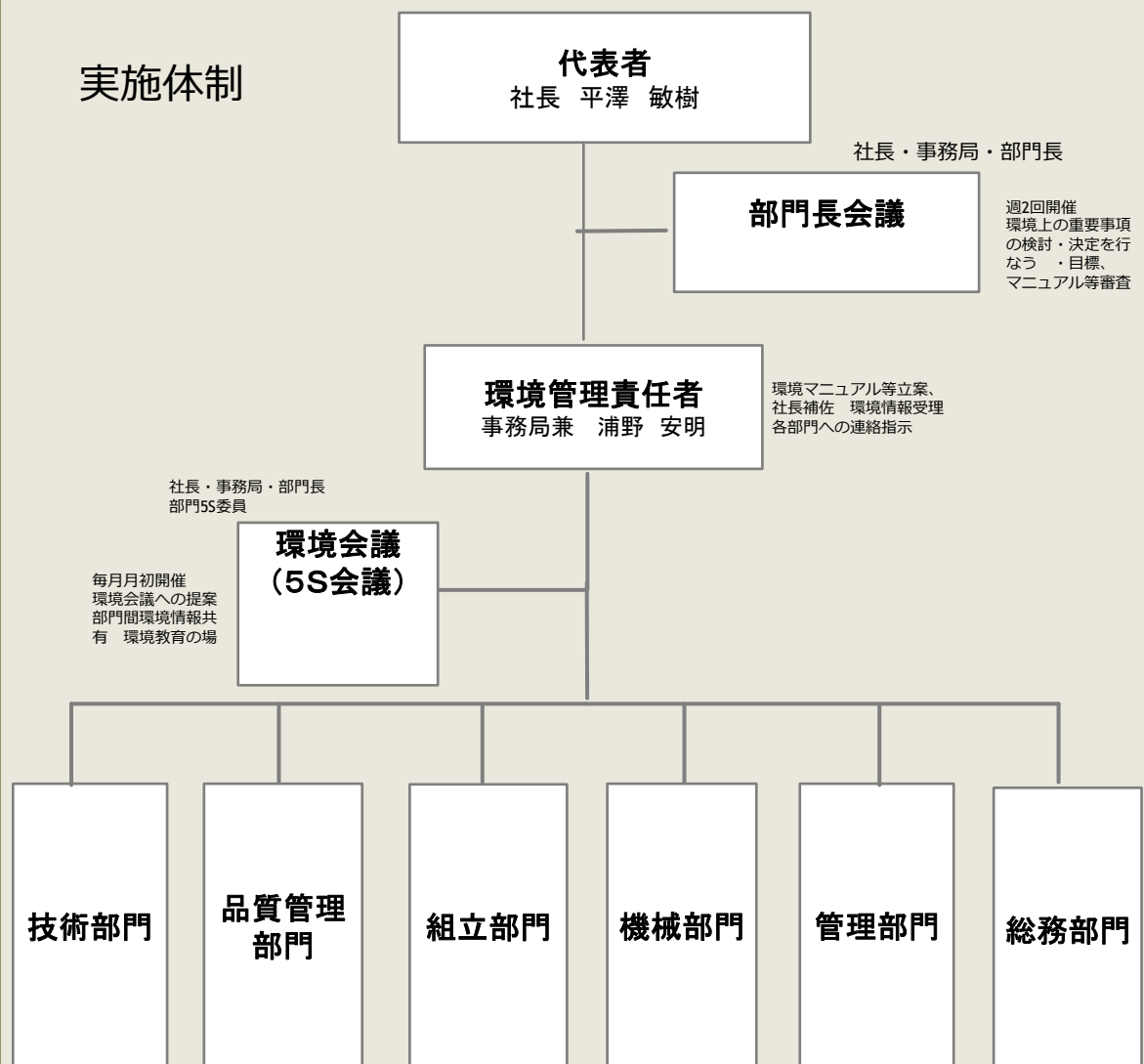
5 グリーン購入の実施

- ①グリーンサプライヤーからの購入維持とグリーン調達基準に基づく購入継続中
（総務・管理部門）

6製品への環境配慮その他（部門毎実績）

- ①管理部門---新規品の取込み、在庫回転率向上
→78/60P獲得・在庫回転率向上16.39
- ②技術部門--新規品の取り込み、工程時間削減、合理化による負荷削減
→ 6件実施
- ③総務部門--売上増のため助成金利用、資金運用
→ 6件実施
長野県SDGs登録
→ 2022/4/30登録
- ④機械部門--加工時間の短縮、工程の短縮、治具化
→ 30件実施
- ⑤組立部門--工程時間削減のための改善
→ 12件実施
- ⑥品質管理部門--不良損金削減25万以下
→ ￥244,468

実施体制



部門長と（5S委員）は 全社目標のもとに作成した部門目標・計画に沿った部門内環境活動を実践し報告する。

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組み結果とその評価実績には二酸化炭素排出量を含む）、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

7-1 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組み結果とその評価

2021年度環境経営目標進捗表

環境目的	具体的目標	責任者/対象部門	目標値	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	対象期間累計平均値 達成状況
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素排出量前年比1%減	総務/全社	57835t/CO ₂ /年 昨年月比1%以下 (99以下)	84.4	77.3	85.1	86.5	110.4	122.2	152.3	154.5	143.2	129.5	130.3	112.9	112.9
	エコ通勤の維持継続/エコドライブの実施	総務・管理部門長/全社	エコ通勤月平均 30日以上 (1・2・12月除く)	42	48	50	55	38	46	43	49	49	47	44	44	46.8
廃棄物排出量削減	可燃ゴミ削減・廃棄物管理	総務部門長・機械部門長/全社	ゴミ185.38kg/月 廃油1.88t/月以下	148 0	165 1.4	130 0	160 1.5	190 1.4	152 1.7	172 1.7	83 1.7	177 1.7	191 1.7	177 1.6	143 4.0	154.8kg 1.53t
	機械・備品の長期使用	各部門長/全社	各部門目標	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	36-36
水使用量削減	水使用量維持・管理	総務部門長 機械部門長/全社	97.76t/月以下	49	58	71	78	67	93	98	77	80	78	83	84	76.33
化学物質使用量削減	取引先使用禁止物質の使用中止/化学物質削減	対象部門長/ 管理製造部門長	活動維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持
グリーン購入の実施	グリーン購入維持	対象部門長/ 総務・管理	活動維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持
製品への環境配慮 の他	売上・利益UP(経費削減)	対象部門長/ 管理・総務・技術	部門目標	3-1	3-3	3-3	3-3	3-2	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	36-33
	工程時間削減・環境負荷削減の工夫	対象部門長/ 機械・組立・技術	各部門目標	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	36-36
	不良損金削減	品質管理部門長/ 機械	25万/月以下	155,408	63,824	256,123	176,253	180,981	89,692	151,947	147,072	145,985	140,191	274,793	244,488	168,888

○は達成・継続中 △は目標値10%未満 ×は10%以上開きがあり未達 -は評価不能 他各目標達成部門(上段左の数)が8割以上○ 5割以下× 他△

*** 2021年環境経営目標の達成状況報告 ***

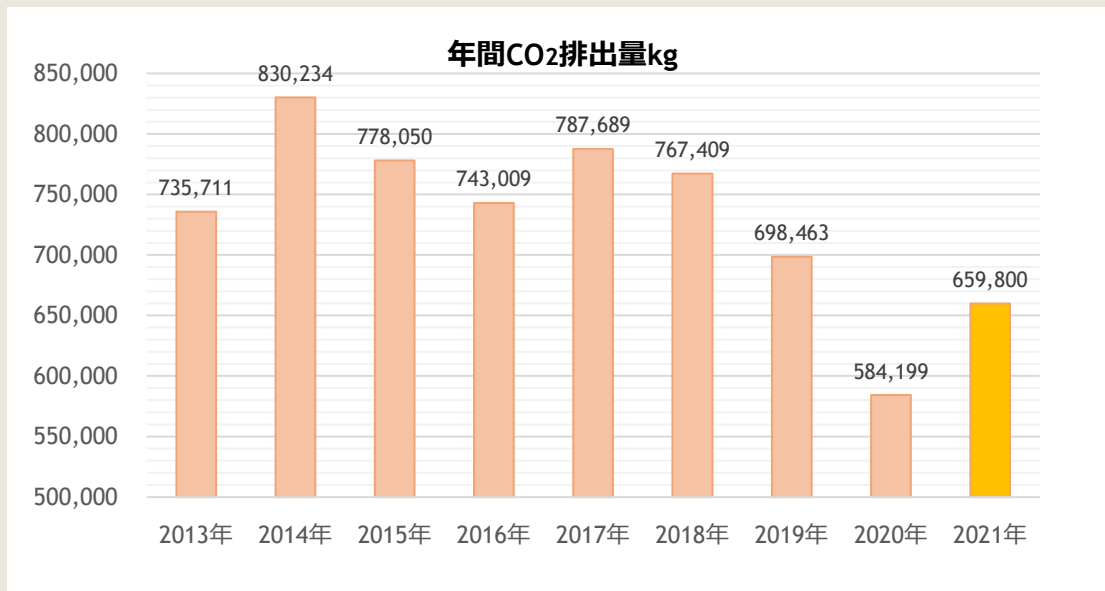
---- 目標はほぼ達成できた。 -----

目標10項目に対して達成は（ほぼ達成1項目も含む）9項目だった。
特に5月以降は前年対比でコロナからの業績が急回復したことで生産設備の稼働日数の増大により使用電力が昨対平均114%となり、CO₂の削減目標は達成出来なかった。
中期目標で重要視している環境負荷の低減（経費節減、工程時間の削減、不良損金削減等）については達成出来たことは評価出来る。

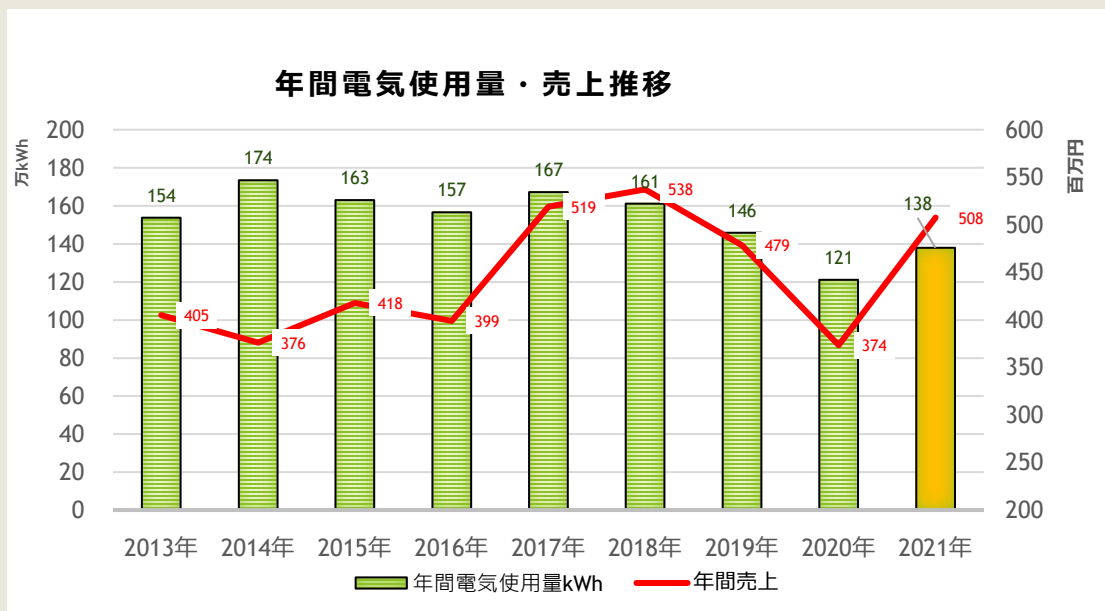
（環境管理責任者）

1 二酸化炭素排出量の削減について

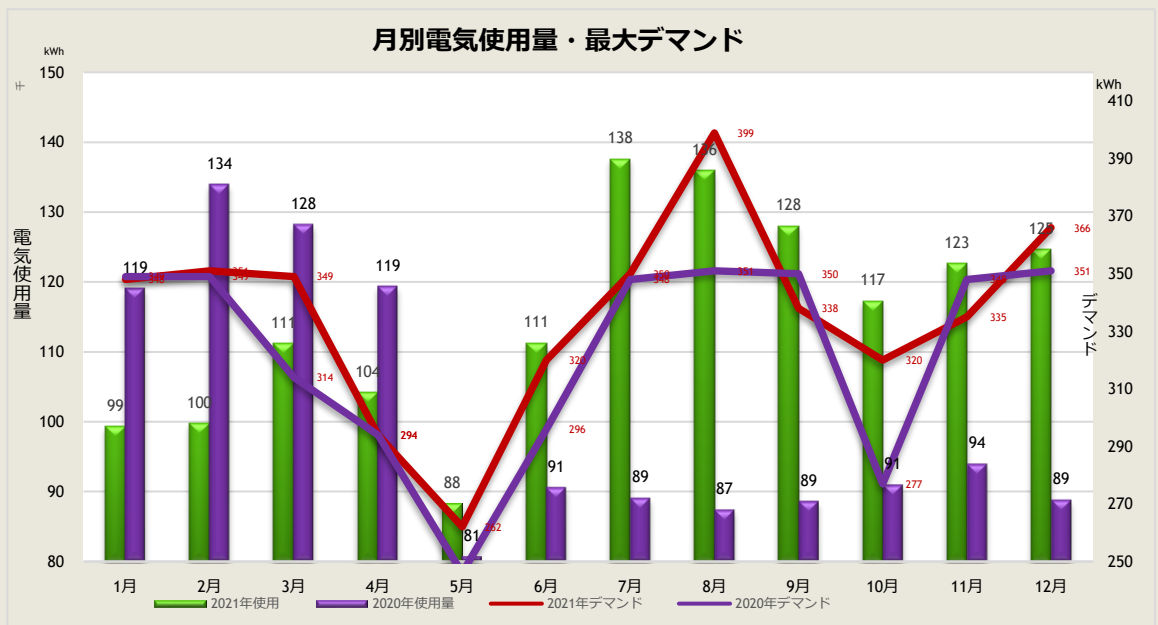
①二酸化炭素排出量578,357kg/CO2以下-----659,800kg/CO2 未達成



※排出係数0.447 (日本テクノ (株))
平成28年度 調整後



※当社の場合、二酸化炭素排出量削減の中心は電気の使用量削減である。今年は1月-4月コロナ禍により設備稼働時間がダウンしたが後半の受注増により売上は回復し、電気の使用量は昨対114%、売上は昨対136%であり効率は良くなっている。



※電気使用量とデマンドについて

デマンド当初350kWhを上限活動してきたが従業員が増えエアコン設置をしたことや夏の猛暑に熱中症対策としてのエアコン稼働増によりデマンドは400kWhとした。電気使用量については5月以降はコロナ禍からの急回復による生産上昇に伴い、電気使用量は大きく増えた。

また安定していた電気料金も燃料価格上昇により市場運動による恩恵がなくなり固定価格契約に11月から切り替えた。

②目標 エコ通勤日数 30日/月 以上（冬季除く） ----46.8日/月 全月達成

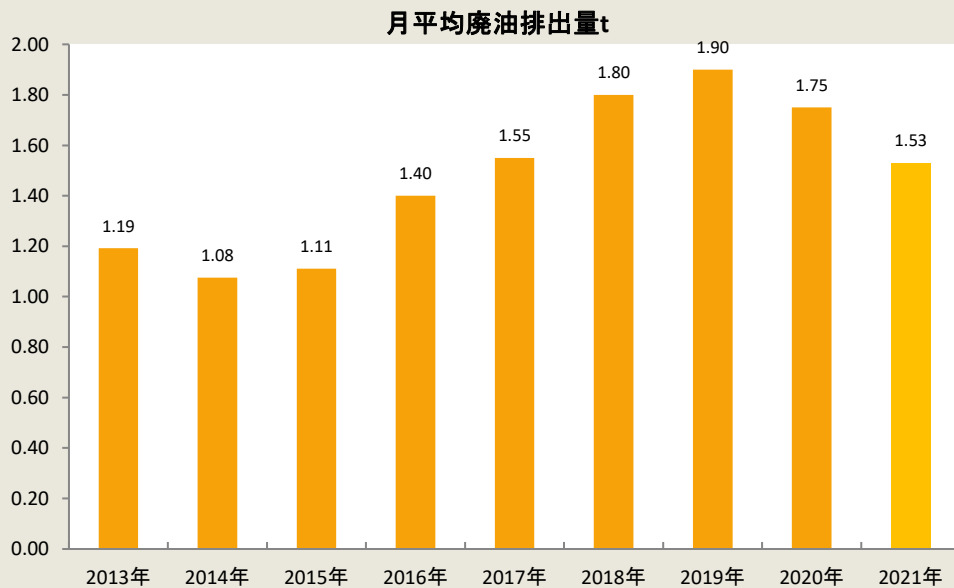
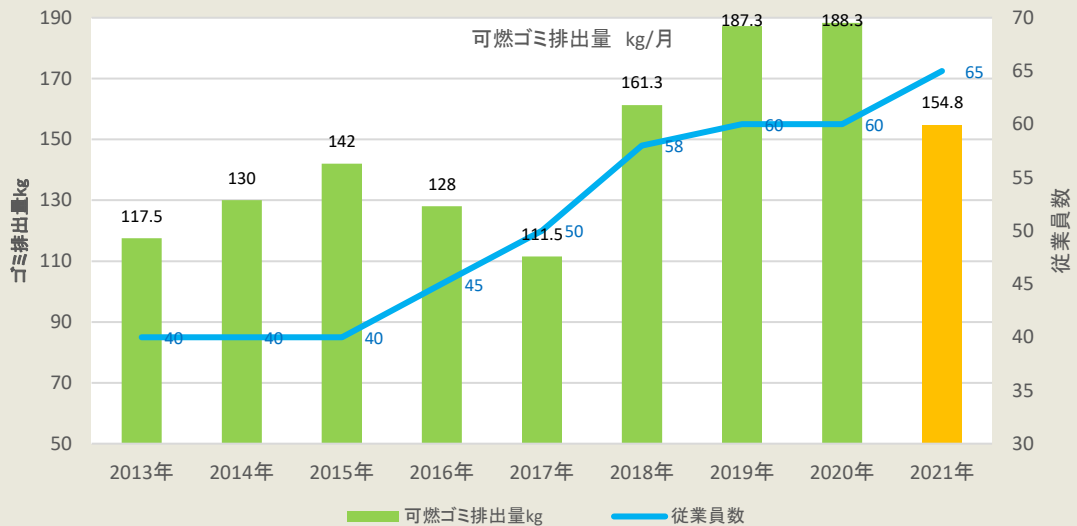


※9月には恒例の長野県主催の「信州スマートムーブ通勤ウィーク」に参加した。

2 廃棄物排出量削減

①可燃ゴミ185.38kg/月以下-----154.8kg/月 目標未達

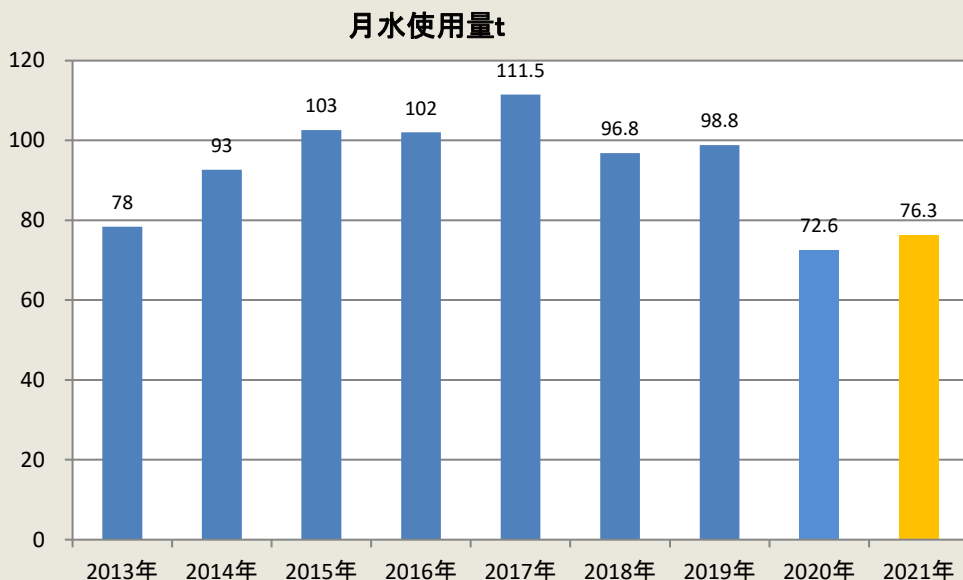
②廃油 1.88 t /月以下 -----1.84t/月 目標達成



※可燃ゴミは従業員増にもかかわらず昨年よりも排出量が減っているが一昨年の濡れ落ち葉（300kg）計上の影響が大きかった。

また廃油に関しては前半期のコロナ禍による生産低下に伴う排出量削減が大きかった。

3 水使用量削減 数値目標 97.76 t /月以下 ----- 76.33 t /月 達成



※機械部門では、機械職場内4箇所加算メータ設置により、各エリアで月々の正確な使用量を把握している。またその管理は継続されている。

水使用量は前半のコロナ禍による生産低下の影響が大きく一昨年に比べ減少した。

4 化学物質使用量削減 目標 取引先使用禁止物質の使用中止 ----- 達成
製造部門・管理部門が維持継続中

5 グリーン購入の実施 目標 グリーン購入の維持 ----- 達成
総務・管理部門が維持継続中

6 製品への環境配慮

①工程時間削減又は合理化による負荷・無駄の削減 ----- 達成
製造部門・技術部門で活動

②売上・利益アップ ----- 達成
3部門対象（管理・総務・技術）で活動

③不良損金削減 25万/月以内 ---16.9万円/月 達成
品質管理 機械部門---品質、安全衛生、環境からのアプローチをかけ重点目標として活動してきた。特に3Sの徹底

2) 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

2022年 環境経営計画書

環境目的	具体的目標	責任者/対象	目標値等	2022年の主な行動計画
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素の排出量削減	総務部門長/ 全社	前年実績 1%減	①デマンドコントローラー・スマートクロックによる監視・管理 ②節電対策実施 ③節電設備検討 ④省エネ委員活動 ⑤節電表による管理継続
	冬季(12月～2月)を除いたエコ通勤の維持継続・エコドライブ実施(管理部門)	総務・管理部門長/ 全社	31日/月以上	①エコ通勤呼びかけ、活動報告掲示 ②駐輪場整備・自転車点検整備等 ③信州スマートムーブ参加 ④社用車のエコドライブの実施
廃棄物排出量削減	可燃ゴミと廃油削減	総務・機械部門長 (廃油)/全社	前年実績1%減 (ゴミ153.25kg /月以下) (廃油1.518t /月以下)	①リサイクルゴミ仕分け徹底呼びかけ ②月ごと結果発表掲示 ③コピー両面使用 ④電子媒体促進、配布書類削減 ⑤廃棄切削油把握削減 ⑥油漏れ対策
	機械・備品の長期使用	製造部門長/ 製造部門	部門目標	①予知保全を考慮した各種設備備品日常・定期点検の実施 ②整備点検教育の実施 ③各種精度点検の実施 ④レベル点検 ⑤設備保全技能教育
水使用量削減	水使用量維持管理	総務部門長/ 全社	前年実績1%減 (75.57t/月以下)	①毎月使用量内訳再把握 ②水漏れ点検 ③生活排水の節水呼びかけ ④月使用量のグラフ作成掲示
化学物質使用量削減	使用禁止物質の使用禁止 使用化学物質削減管理	管理・製造部門長/ 管理・製造部門	維持 部門目標	①使用禁止物質の含有量調査(客先調査協力時)記録(管理部門) ②新規溶剤等購入時にSDS取得 ④主要溶剤・切削油管理・削減(製造部門)
グリーン購入の実施	グリーン購入継続維持	総務・管理部門長/ 総務・管理部門	活動維持	①グリーンサプライヤーからの購入維持 ②グリーン調達基準に基づく購入継続
製品への環境配慮 その他	売上・利益UP	総務・管理・技術 各部門長/ 同部門	部門目標	①新規品の取り込み、新規開拓 ②材料費の見直し ③経費分析 営業外収益
	工程時間削減・環境負荷削減 の工夫	製造・技術部門長/ 製造・技術部門	部門目標	①工数把握 加工時間短縮 ②工程管理表の有効活用 ③プログラム修正 ④工程削減治具作成 ⑤外段取りの構築 ⑥環境負荷削減の工夫・検証
	不良損金削減	品質管理部門長/ 機械部門	25万/月以下	①不良集計表の作成・掲示 ②不良原因調査・対策実施 ③不具合対策表・不良損金報告書作成

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果、並びに違反、訴訟等の有無

最新の「環境法令等登録兼チェック表」の通り

2021/11環境法令等登録兼チェック表

適用法令	項目・条文	内 容	対象品 施設	チェック内容	判定 ○/×
廃棄物の処理及 び清掃に関する 法律 ： H26.6.13改正 (H23.4.1施 行) 水銀に関す 水俣条約 (H29.8.16)	12条2 (産業廃棄物保 管基準)	1保管場所の囲い、構造耐力安全であること 2必要な事項を記載した掲示板60×60以上 3保管場所からの産廃の流出等防止、保管 場所の衛生管理	・ゴミ置き場 ・廃油置き場 ・危険物置き 場 委託契約書 許可証	総務部門 1確認済 2確認済 (清掃) 3確認済	○ ○ ○
	12条3 (委託の基準)	運搬又は処分を委託する場合には収集運 搬・処分を受けた業者に委託	マニフェスト (管理票)	確認済	○
	12条の3 (産業廃棄物管 理票)	1産廃委託する場合種類ごと、運搬先ごと 引き渡し時に必要事項を記載してマニ フェストの交付とその写しの回収(90 日、最終処分180日)回収出来ない場 合の措置と報告義務 2 マニフェスト(写し)の5年保管		1確認済	○
	12条7	3マニフェスト発行状況の報告を毎年6月 30日までに都道府県知事へ提出 産廃物の処理状況の確認と適正のための 必要処置を講ずる(努力義務) 廃棄物保管場所の掲示板表示	マニフェスト 報告書 産廃業者 産廃置き場	2保管中 3提出済 (2021/6/3) 2021/11/25 電話で確認 2021/11/25 確認	○ ○ ○ ○
家電リサイクル 法 H23.6.24改正	6条 (事業者の責 務)	特定家電長期使用、排出抑制 廃棄の際、適切な引渡し・料金支払	テレビ・エア コン・冷蔵庫 洗濯機	総務2017/11 以降 廃棄無し	—
小型家電リサイクル法 H25.4.1		可能な場合、対象物を分別して認定業者に 渡す事	携帯電話・デ ジタルカメラ 他	総務 2021年は該当無し	—
水質汚濁防止法 ： H23.8.30改正	12条	特定施設ではない 排水基準に適合しない排水を排出禁止 (コンプレッサーのドレイン水の油水分 離)	コンプレッ サー2台 排水管理	業者点検実施済 継続中(月1回)技 術部門 問題なし	○
下水道法 ： H26.6.13改正	12条の2	①pH9を超える処理液の場合は、水質 汚濁防止法別表1の65酸又はアルカリ による表面処理施設に該当し、特定施設 となる。(届出等必要) ②下水道には下水道基準(pH9等)を 超える排水を流さない。	バレル室 第二洗浄室 工場内洗面所	機械仕上 第二工場 ①現状該当無 ②バレル室は現在 水のみ 第二工場は希釈し て排水を実施中	— ○

騒音規制法 H17.4.27改正	6条 (設置の届出) 伊那市環境保全 条例 (12条)	特定施設を設置する場合市町村長へ届出 (コンプレッサー2台) 発生する騒音の規制 届け出のみ(伊那市) (70-65db以下)	コンプレッサー (37kW2台)	総務部門 届出済 2015.03.24 1台入替 2015/3/25届出済入 替分 2017/9 コンプレッ ッサー9/13- 37VARN年次点検 済み	○ ○ ○
消防法 H26.6.13 危険物の規制 に関する規則 H23.2.1 危険物の規制 に関する政令 伊那市条例	9条3 第18条 同省令 14条3の2	指定数量以上の危険物があるか 届出しているか ①危険物標識の掲示 ②既設地下貯蔵タンクの流出防止対策等 2024/10/15まで対策実施する事 定期に点検し、その点検記録を作成し、 これを保存 指定数量以下(1/5以上)届出(消防署)	地下タンクの 石油 地下タンク 地下タンク 地下タンク 少量危険物置 場	総務部門 確認済 届出済 ①確認済 ②確認済 検討中 2021/5/26 定期点検実施 保存確認済 届出確認済	○ ○ ○ ○ ○ ○
特定化学物質 の環境への排 出量の把握等 及び管理の改 善の促進に関 する法律 H14.12.13	2条 5条 (排出量等の把 握及び届出) 14条	第一種指定化学物質等取扱事業に該当す るか (第一種指定化学物質のいずれかを1年 間に1t以上取り扱うか) PRTR制度より排出・移動量の届出(6月 まで)	把握後判定	総務部門 非該当	—
フロン排出抑 制法 H27.4.1	施行規則による	①機器の設置環境・使用環境維持保全 点検・修理を行う作業空間の確保はで きているか ②簡易点検・定期点検の実施をする 簡易点検 1回以上/3ヶ月7.5kw未満 定期点検 1回以上/1年----50kw以上 1回以上/3年----7.5kw以上 50kw未満 点検整備記録の作成・保存 ③フロン漏洩時の措置 修理が終わりまで充填禁止 一定以上の漏洩は国へ報告義務 ④フロン充填・回収、製品の廃棄は「第 一種フロン類充填回収業者」へ委託 必要書面の交付・保存をする	各所工場設置 箇所	総務部門 設置部門 ①確認OK ②簡易点検実施済 み3月ごと ③漏洩無し ④該当無し	○ ○ ○ —

2021年11月25日現在の環境法令遵守状況をチェックし、法令に遵守していることを確認しました。また過去3年間違反・訴訟の無いことを報告します。

2021年11月25日 総務部門長 浦野 安明

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

----前回マネジメントレビューで代表者からの課題-----

コロナ禍で大幅に受注が減少する中でも次に向けた準備に取り組む。

- ①航空・宇宙・防衛に対する品質規格(JIS Q 9100)の定着を図ると共に航空関連の新規取引先の品質要求にも対応できるよう取り組む。
- ②作業場からの不要品の撤去（プラコンを含め必要最低限の作業場への持ち込みの習慣化）
- ③2021年中に水銀灯、蛍光灯等を完全にLED化が出来るよう各部門で計画的に取り換えていく
- ④機械の故障削減と自前で修理できるよう技能の向上を目指す。
- ⑤棚、机、椅子等自前で修繕(塗装・キャスター交換)できるものは修繕し工場内の見栄えの向上を図る。

-----結果-----

- ①航空・宇宙・防衛に対する品質規格(JIS Q 9100)対象新規製品19アイテム運用実施、定着進む。
新規取引先(重工大手)の品質マネジメントシステム認証取得(5/18)し新規受注獲得。
- ②材料庫整理、不要材料廃棄。仕上チーム、タッピングマシン2台売却（11/29）
- ③機械工場15灯・旧発送場2灯・YBM棟8灯・RB棟3灯の水銀灯をLED化全水銀灯のLED化完了。
- ④技能検定・機械保全 今年の合格者1級1名・2級2名、可能な限り自己修理対応してきた。
- ⑤大昭和精機製ツールワゴン2台キャスター交換した。

以上①～⑤について対応できた。環境・安全衛生・品質の活動については統合出来るところは同じ目標として主たる会議で活動報告を行うようにしてきた。

環境管理責任者 浦野 安明

2021年の活動は、凡そ達成されました。2022年は2021年に達成した目標をさらにブラッシュアップし発展させましょう。

環境方針変更の必要性 有☐ 無☒

環境目標変更の必要性 有☒ 無☐
新3カ年計画の策定を行う事。

環境活動計画及び環境経営システム等の変更の必要性 有☒ 無☐
新3カ年計画に沿った環境活動計画の策定を行う事。

代表取締役 平澤 敏樹

10. その他の取り組み・トピックス

1 「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」 （内閣府）の事業所指定を受けました。



航空宇宙産業の世界三大拠点を目指して



アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区推進協議会

2021年1月、「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」（内閣府）の事業所指定を受けました。

「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」は、欧米先進地域と肩を並べ、アジア等新興国の追随を許さない航空宇宙産業の一大集積地の形成を図るため、総合特別区域法に基づき国から指定を受けた国際戦略総合特区です。

我が国最大の航空宇宙産業集積地である愛知・岐阜・三重・長野・静岡地域においては、国際戦略総合特区や自治体独自の施策に基づいて支援措置が手厚く講じられており、さらなる企業集積や航空機・宇宙機器の生産機能の拡大・強化を図っていくための環境が整備されています。

2 2021年に続いて「2021健康経営優良法人」認定

社員一人ひとりが原動力です

「企業を動かす原動力は『人財』である」

約半世紀、平沢電機が着実に実績を上げ業績を伸ばして来た原動力は、社員一人ひとりが持つ無限のエネルギーを大切にし、個々の力を最大限活かし発揮できる体制と社員が働きやすい組織づくりです。

2020年、当社で初めて経産省の「健康経営優良法人2020」に認定され、引き続き2021年度も「健康経営優良法人2021」の認定を頂くことが出来ました。

今後も積極的に健康経営の推進に取り組んでまいります。

3 長野県SDGs推進企業登録しました

SDGsへの取り組み

2021年4月 「長野県SDGs推進企業登録制度」に登録いたしました。

働きやすい職場環境で一人一人が健康で幸せな生活を送れる会社、地域に根ざしながらも新しい分野へ果敢に踏み出せる活力ある会社を目指しています。

SDGs達成に向けた経営方針等

弊社の経営理念である「この豊かな自然環境に感謝と誇りの念を持ち、一人ひとりが人と地球にやさしい工場作りをしていきます」は、SDGsの達成と目的を同じくするものであり、すべての人々が幸せを感じられる社会の実現に向けて、我々が自覚を持ってその役割を果たしていくことにより、社員一同SDGsの達成に貢献していきます。

SDGs達成に向けた宣言

1. エコアクション21の活動に沿って工程改善・省エネ等でCO2の削減に努める。
2. 高齢者(60歳以上)・身体障害者雇用促進、子育て支援による女性従業員の就業環境改善。



SDGs

**REGISTERED PARTNER
NAGANO PREFECTURAL
GOVERNMENT**

11. 10月に総合防災訓練・全体研修を実施

1 総合防災実施

10月15日に行なった。今回は各職場で火災が発生（職場にて火災の発生の状況が異なる）、初期消火対応とその後の避難等の訓練を行なった。

初期消火のあとは前回同様濃煙火災時、煙からの避難に重点をおいた訓練をした。事前にアナウンスで再度避難行動の確認事項を指示した上で行なう事でより明確にした。また訓練前の準備として部門毎に各職場での火災発生のリスクの高い場所の選定、自衛消防隊名簿や役割の見直し、データのバックアップ、重要持ちだし品の確認、連絡網の見直し等を行なっている。いずれも毎年繰り返す事により、非常時の対応を確実にすることを目的とした訓練とした。

「油漏れ訓練」については例年通り環境マニュアル通りに訓練が出来るか、その確認のための訓練とした。

2 全体研修等実施（防災訓練後の集合研修として）

1 BCP変更事項についての説明

緊急出社メンバーの追加 取引先の追加 ポータブル電源購入報告 今年の従業員携帯カード配布し作成は各自依頼した。

2 エコアクション21環境活動について

現状報告 進捗状況、特に二酸化炭素排出量の目標以外は全て達成している。

しかし昨年比対比の削減目標のため、現在のコロナ禍での生産活動の影響から回復している事が経営的観点からはより評価出来る。

3 SDG s と C S R について

SDG s とは何かの簡単な説明と、この4月長野県 SDG s の登録企業になったこと、2030年に向けての自社目標について説明を行なった。さらに SDG s に関連して人権尊重について、身近なところでは会社従業員も、国籍、年齢、性別、障害等の差別はあってならない事を例に C S R を兼ねて説明した。



防災訓練風景

油漏れ訓練



研修風景

